



産総研北海道センター講演会/長崎大学経済学部地域連携ワークショップ合同シンポジウム

「観光と水産：水産資源の利活用・異分野融合の可能性」

長崎大学経済学部みらい創造センター開設記念

日時：平成27年12月11日(金) 13:30-17:10

場所：長崎大学経済学部総合教育研究棟(新館)209-210教室
〒850-8506 長崎市片淵4-2-1 Tel: 095-820-6303

主催：産業技術総合研究所北海道センター、長崎大学経済学部

後援：北海道地域産業技術連携推進会議、長崎都市経営戦略推進会議、長崎市、長崎県中小企業家同友会

参加費：無料(定員80名) : 定員になり次第締め切らせていただきます。

内容：

■開会挨拶 13:30-13:35

長崎大学経済学部長 岡田裕正

【第1部】 観光から見た水産資源の魅力

座長 長崎大学経済学部副学部長 西村宣彦

■講演1 13:35-14:25

「観光資源としての水産業」

北海道大学観光学高等研究センター 研究員 石川 満壽夫

(国産水産物流通促進センター 指導員)

■講演2 14:25-15:15

「観光都市長崎の未来像」

長崎大学経済学部 准教授 山口純哉

-----休憩----- (15分)

【第2部】 水産資源の高付加価値化技術

座長 北海道立工業技術センター 研究主幹 吉岡武也

■講演3 15:30-16:20

「高品質な水産物を高く売る！」

長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科・長崎大学水産学部

教授 村田昌一

■講演4 16:20-17:10

「コールドチェーンの進歩とその高度利用」

杉本技術士事務所 杉本 昌明

■閉会挨拶 17:10

講演概要

「観光資源としての水産業」

北海道大学観光学高等研究センター 研究員 石川 満壽夫
(国産水産物流通促進センター指導員)

人が観光に行く動機には、自然・景勝地観光、歴史・文化に触れる観光、温泉旅行、グルメ、テーマパークなどがあります。北海道観光は観光資源に恵まれ、四季の変化に富み、国内外の人の『行きたいところランキング』でも極めて上位に位置しています。そこで観光資源としての北海道水産業について事例を紹介しながら、魅力、課題、これからの可能性などについてお話しします。

「観光都市長崎の未来像」

長崎大学経済学部 准教授 山口純哉

「明治日本の産業革命遺産」と「長崎の教会群とキリスト教遺産(ICOMOS調査中)」の世界文化遺産登録にかかる動き、クルーズ船134隻の長崎入港(2015年予定)など、長崎の観光にかかる魅力や条件が大きく変化しつつあります。長崎が観光都市として更なる飛躍を遂げるために超えなければならない課題は何か、水産資源の位置づけも含めてお話しします

「高品質な水産物を高く売る！」

長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科・長崎大学水産学部

教授 村田 昌一

水産資源の減少、生産者収入の減少、後継者不足等、近年、日本の水産一次産業をめぐる社会状況は厳しさを増すばかりです。水産国日本の復活には一次産業の活性化が急務であり、そのためには高品質な水産物が適正に売れる情報伝達型流通システムの構築が必要です。本講では、品質情報を付加したビジネスツール型トレーサビリティのシステム構築、さらに、これらシステムに品質情報を付加するための品質測定機器に関する研究開発等を紹介いたします。

「コールドチェーンの進歩とその高度利用」

杉本技術士事務所

杉本昌明

コールドチェーンが提唱されてから今年で50年、食材や食品の品質はめざましく進歩しました。とりわけ、水産物の新鮮度は著しく改善され、食中毒による危害が激減したのは当然、色・味・香といった品質は飛躍的に向上し、全国どこへ行っても美味しい刺身や魚介料理を楽しむことができるようになりました。地場の魚を大都市に迅速出荷して消費・賞味してもらおう一方で、地域特有の魚産業や魚食文化をも維持・発展させる。それらの料理との出会いも旅行者にとってはうれしいことのひとつです。コールドチェーンの技術と期待について話をしましょう。

<参加申込書>

参加申込は以下の申し込み先(共通)にE-mail又はFAXにてお申込ください。定員になりしだい締め切らせていただきます。
※ご提供頂いた個人情報は、お申込みの確認及び産総研北海道センター講演会/長崎大地域連携ワークショップのご案内以外には使用しません。

| | |
|--|-----------------|
| ①企業(団体)名: | ②連絡先(住所・電話番号等): |
| | E-mail: TEL: |
| ③参加者氏名: | ③参加者氏名: |
| ③参加者氏名: | ③参加者氏名: |
| 申込み先(共通):E-mail: kfuku@nagasaki-u.ac.jp FAX:095-820-6370 | |
| 問合せ先: 産業技術総合研究所 北海道センター 鈴木 (TEL:011-857-8406) | |
| 長崎大学経済学部 福澤 (TEL:095-820-6357) | |